

テーマ5 計画を確実に進めていくための人づくり

施策の柱5.1 本計画推進のための庁内における環境意識の向上と人材育成

目標17

庁内における環境意識の向上を図るために、茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステムの周知啓発を徹底するとともに、生物多様性や地球温暖化問題に関する庁内での学習の機会を積極的に提供します。また、研修への参加、先進的取り組みを行っている自治体等への視察を積極的に実施します。

【目標担当課：環境政策課・景観みどり課】

■目標17の進捗状況

●茅ヶ崎市環境マネジメントシステム(C-EMS)(※)の周知啓発

項目	実施時期	内容
C-EMSリーダー研修	11月	地球温暖化対策における自治体の役割、特に注意すべき環境法令(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点に鑑み、例年各課かみのリーダーと担当者を対象として実施している研修を縮小し、施設所管課のリーダーを対象として実施)
新採用職員研修	11月	茅ヶ崎市の環境、C-EMSの説明、ごみ処理の課題と解決に向けた取り組み
外部監査	11月中旬～ 12月下旬	文書監査・訪問監査及び前回は外部監査結果への対応等に対する総合的な評価(報告書は市ホームページ、庁内イントラネット(※)で公表)
課内研修	随時	環境活動目標設定研修・新任異動者レク(適宜)・法令遵守を確認する会(4半期に1回)、環境リスク対応研修(年に1回以上)
C-EMSレターの発行	不定期	外部監査実施結果、各年度の取組結果、夏・冬の節電対策等を全庁的に伝達し情報共有

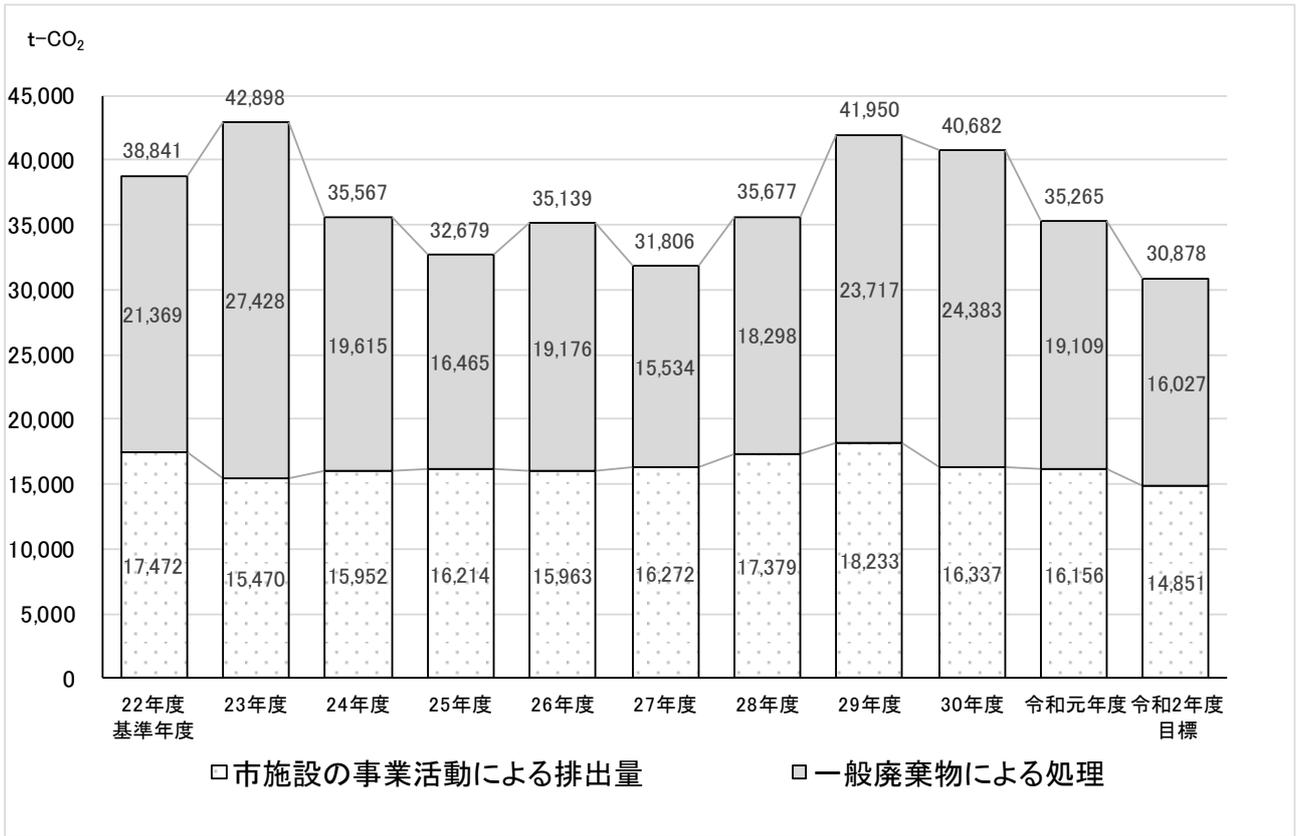
●生物多様性や地球温暖化問題に関する庁内での学習機会

項目	内容
自然環境(生物多様性)	都市部に異動した職員を対象に研修を実施しました。
地球温暖化	茅ヶ崎市環境マネジメントシステム(C-EMS)の周知啓発と併せて実施しました。

●外部研修への参加(平成23年度から令和2年度までに受講のもの)

主催	主な研修内容	参加職員の所属課
環境省環境調査研修所	環境教育、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル、土壌汚染、水質汚濁等	環境政策課、環境保全課、資源循環課
神奈川県	水質システム、大気水質、アスベスト対策、水質汚濁防止法、水道、特定外来生物対策、みどり行政、景観行政、生物多様性等	環境保全課、景観みどり課
神奈川県環境科学センター	県・市町村環境学習担当者研修	環境政策課、環境保全課
(公財)かながわトラストみどり財団(※)	湘南グリーンコネクション	景観みどり課
神奈川県森林協会 ほか	森林・林業行政に係わる担当職員研修会	
公益財団法人 地球環境戦略研究機関 国際生態学センター	連続講座「みどりを守り育む知恵・技術・心得」 連続講座「みどりの環境を守り育む力をみがく」	環境政策課

(参考) 茅ヶ崎市行政の温室効果ガス排出量



■概要

- ・茅ヶ崎市独自の環境マネジメントシステム(C-EMS)に基づき、庁内のさらなる環境意識の向上を図るとともに、環境配慮行動の率先的役割を果たします。
- ・環境に関する情報を行政内の全ての部署で共有します。
- ・生物多様性について積極的に学習の機会を設け、職員への周知を図ります。
- ・知識や技術を習得するための研修、先進自治体への視察等の実施を支援し、環境に関する専門的知識を有する職員を育成します。
- ・階層別職員研修のさらなる充実を図り、庁内横断的な施策をマネジメントできる能力を持った職員を育成します。

■令和2年度の取り組み

(1) C-EMSに基づく庁内の環境意識向上と環境配慮行動の実践

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
C-EMS課内研修、新採用職員研修、マネージャー研修	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点に鑑み、例年各課かいのリーダーと担当者を対象として実施している研修を縮小し、施設所管課のリーダーを対象として実施しました。(内容:環境法令の遵守、省エネルギーについて。資源循環課と共催。参加者50名)。 ・新採用職員研修において、新採用職員60名を対象としてC-EMSについての研修を行いました。 	環境マネジメントシステム推進事業 予算額【515千円】 決算額【507千円】	環境政策課
C-EMS外部監査	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、27課かいを対象とした文書監査(うちヒアリング10課かい)及び4施設を対象とした訪問監査を行い、C-EMSの運用状況や環境活動の取り組み、法令遵守の状況について総合的に評価を受けました。 ・外部監査の結果については、法令遵守に関する指摘事項が一部あったものの、おおむね適切かつ効果的にC-EMSが運用されているとの評価でした。 ・平成30年度から実施している「C-EMS外部監査結果報告会」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点に鑑み、集会型での開催を見送り、通知形式によって全庁へ周知しました。監査結果についても全庁で共有するとともに、市ホームページにて公表しました。 		
C-EMSレターの発行	<ul style="list-style-type: none"> ・C-EMSにおける優良な取り組みの紹介、外部監査の結果、プラスチックごみの削減について掲載し、5月に発行しました。 		
表彰制度「茅ヶ崎市エコオフィス賞」、「茅ヶ崎市エコ管理賞」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・エコオフィス賞については受賞がありませんでした。エコ管理賞については3者の指定管理者の環境配慮の取り組みを表彰しました。 		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) 自然環境、生物多様性についての職員への周知

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
「茅ヶ崎市みどりの基本計画」に係るヒアリング及び周知	<ul style="list-style-type: none"> ・「茅ヶ崎市みどりの基本計画 生物多様性ちがさき戦略」について、市ホームページで周知しています。 	みどりの基本計画推進事業 予算額【617千円】 決算額【330千円】	景観みどり課
都市部局への異動職員への研修	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部へ異動してきた職員に対して、年度当初に研修を実施しました。 		
庁内イントラネットや通知による周知	<ul style="list-style-type: none"> ・コア地域及びその周辺において、土地利用に伴い自然環境が改変される可能性がある場合の情報提供を呼びかけました。 		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
自然環境庁内会議の定期開催	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議により開催しました。(開催回数2回(9月、11月))	みどりの基本計画 推進事業 予算額【617千円】 決算額【330千円】	景観みどり課
環境部局への異動職員への研修	・環境部への異動職員に対して、市内の重要な自然環境等に関する研修を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。	環境基本計画の進行管理・ 策定事務 予算額【7,839千円】 決算額【7,032千円】	環境政策課
環境基本計画(生物多様性)に係る庁内研修	・職員及び市民を対象とした生物多様性に関する研修を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。	市民・事業者・市との環境 具活動連携支援事業 【予算額80千円】 【決算額0千円】	

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(3) 知識や技術を習得するための研修の支援、環境に関する専門的知識を有する職員の育成

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
各種研修会への職員派遣	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、環境に関する各種研修会が中止となり、派遣を実施しませんでした。	職員研修に関する 事務 予算額【5,493千円】 決算額【2,124千円】	職員課
職員研修報告会の実施	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、報告会は実施しませんでした。		
各種研修会への職員派遣	・令和2年10月28日、一般財団法人省エネルギーセンター主催「エネルギー管理講習」に職員を派遣しました。	部内調整事務 予算額【35千円】 決算額【18千円】	環境政策課
各種研修会への職員派遣	・県主催の「湘南地域ナラ枯れ被害対策現地研修会」に職員2名が参加しました。	みどりの基本計画 推進事業 予算額【617千円】 決算額【330千円】	景観みどり課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(4) 階層別職員研修の実施

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
新採用職員研修	・令和2年11月6日に「環境行政(環境政策課・資源循環課)」について研修を実施しました。	職員研修に関する 事務 予算額【5,493千円】 決算額【2,124千円】	職員課
担当主査級職員研修	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施しませんでした。		
課長補佐級職員研修	・令和2年10月28日、29日(いずれか1日)に「マネジメント研修講座」を実施しました。		
課長級職員研修	・令和2年11月12日、令和3年1月21日に「マネジメント研修講座」を実施しました。		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
<p>・C-EMS研修は、例年行っている形式では実施できなかったものの、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から鑑みながら工夫して実施することができました。受講対象者を限定はしたものの、特に重要となる内容にポイントを絞って実施することで、効果的に職員の意識向上が図れたと考えます。</p> <p>・外部監査の結果については、おおむね適切かつ効果的にC-EMSが運用されているとの評価がなされ、研修等により庁内の環境意識の向上が図れていることがうかがえます。</p>	<p>B</p>
課題	
<p>・C-EMS外部監査において環境法令の遵守に関して一部指摘がありました。令和3年度より運用を開始した新しいC-EMSでは、環境法令の遵守体制の強化を目指して取り組んでいくこととしていますので、これまで以上に庁内で連携を図りながら、環境に配慮した事務事業の執行を目指します。</p>	<p>A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)</p>

第30号 C-EMS レター 2020.5月

主幹記事
 茅ヶ崎市エコオフィス賞・エコ管理賞
 外部監査結果
 アラックごみ削減

令和2年5月 日発行
 発行元 C-EMS 事務局環境政策課

茅ヶ崎市エコオフィス賞・エコ管理賞 令和元年版 募集結果

市では、環境マネジメントシステム（C-EMS）において、市の組織を対象とした『茅ヶ崎市エコオフィス賞』、市の施設を管理する指定管理者を対象とした『茅ヶ崎市エコ管理賞』の2つの表彰制度があります。どちらも市の施設で行っている職員の手配整備行動や設備の運用管理等の取り組みで、環境負荷の低減や、業務効率化、経費の削減等の効果が認められ、他の組織の模範となる環境配慮活動を表彰し、その内容を公表することで、他の組織等への波及を担いとしています。

令和元年版は幅広く受賞した取り組みはありませんでしたが、地域保健課の取り組みが職員提案制度の奨励表彰の「特別賞」として表彰されました。エコ管理賞については3つの施設が受賞しました。

地域保健課の環境に配慮した取組紹介 「提案賞」受賞

■取組名：事務部屋の一元化と見える化の取組
 事務部屋は 個人のものではなく 職場のもの みんなで暮らす 緑葉ペン（全）1ー

【現状の課題】

- 各課員のデスクの引き出しには、整理整頓された事務用品が収納されている。課員によっては、大量の在庫を抱え、収納スペースを圧迫している状況もある。
- 一方で、事務用品の在庫がないと困った場合、各課員それぞれに頼りながら、事務用品を購入しており、無駄な購入が懸念される。

【取組内容】

- 各課員のデスク内の収納スペースで隠れていた事務用品を整理し、余分なものは課内の一か所に一元管理する。
- 一元化した事務用品を整理し、見える化し、課内で共有する。
- 取組が形骸化しないために、半年に1回見直しを行う等、定期的に行うものとする。

【効果】

- ムダな事務用品の購入防止
- 各課員のデスク内の収納スペースが整理・整頓され、探し物がなくなり、事務効率向上。

第30号 C-EMS レター 2020.5月

表彰状が贈られました。

地域保健課職員
 メッセージ

他の課員のデスクの中で収納スペースを圧迫していた「名刺ケース」「名刺入れ」を事務用品一元化により、カットしました！課員間に交換をお願いせずに済みました！

各課員の机の中に、これだけの事務用品がありました。

約15名を記録したデスク整理、収納場所を1/3削減しました。

経費削減、業務効率化、環境配慮強化の効果やこの部署でも活用できる等が評価され、職員提案制度奨励表彰の「特別賞」として市長から表彰されました。また、市役所一丸となって取り組むことで、大きな効果が生まれます。ぜひ皆さんの職場でも取り組んでください。

茅ヶ崎市エコ管理賞の取組紹介

■茅ヶ崎市アラッククラブ（協働水プール指定管理者）
 (取組内容)
 ①駐車場ポイントカード制による駐車場混雑緩和
 ②無料シャワー稼働時間半減による節水
 (取組効果)
 ①排水削減、課員の負担軽減、汚濁負荷低減、環境意識向上
 ②水道使用量削減率10%削減、使用料全額年比30万円削減

■茅ヶ崎市スマートウエルネスパーク（原島スポーツ公園指定管理者）
 (取組内容)
 ①プラスチックストロー禁止（高値者に付随ストロー禁止）、②給湯器省エネ化、③節電対策実施、④シャワー料金削減による水道使用量削減、⑤公園内照明のLED化、⑥水まわりの水、⑦全スポーツ用具のリユース
 (取組効果)
 節電対策、資源循環利用、省エネ、経費削減、来場者の環境意識向上

■認定NPO法人サポートちがさき（茅ヶ崎市環境サポートセンター指定管理者）
 (取組内容)
 ①市民への環境に関する様々なイベントの開催
 ②省電省水の取組による夜間電力削減
 (取組効果)
 ①市民の環境意識向上、②省エネ、経費削減

今年度も開催します！
 エコ活動による経費削減、業務効率化に繋がりますのでぜひ取り組んでください！

C-EMSレター30号（令和2年5月発行）

施策の柱5.2 市民・事業者の環境意識啓発・人材育成、活動の支援

目標18

市民の環境意識の向上を図り、環境に関する活動への参加者数等を増やします。

【目標担当課：環境政策課】

■目標18の進捗状況

●環境に関する主な事業への参加者数

項目	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
環境フェア来場者数(名)	約2,000	約1,600	約1,900	約3,000	約2,000	約1,500	—
里山はっけん隊！参加者数 (延べ人数)	67 (春・夏・冬)	20 (秋)	49 (春・秋)	34 (夏・冬)	39 (秋・春)	48 (夏・冬)	—
こどもエコクラブ登録クラブ数	3クラブ	10クラブ	3クラブ	2クラブ	2クラブ	2クラブ	1クラブ
環境市民講座参加者数(名)	189	145	147	58	57	—	—
農業・漁業体験プロジェクト 参加者数(延べ名数) ※平成23・24年度は環境政策 課、平成25年度以降は農業水産 課が実施	218	202	177	280	99	120	—
公民館・文化資料館等に おける環境に関する講座 参加者数(名)	1,959	3,172	2,929	2,330	2,215	2,233	—

(参考)家庭における省エネルギー・地球温暖化防止への取り組み (省エネルギー・地球温暖化に関する意識調査集計結果)

項目	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度(*)	令和 2年度
意識している	81%	90%	90%	84%	83%	62%	59%
意識していない	11%	10%	10%	7%	14%	17%	21%
どちらともいえない	8%			4%	4%		

* 令和元年度は地球温暖化対策について、実践している又は実践していないと回答した割合を記載。

■概要

- ・市内の環境に関する情報や、市民活動団体、事業者、市等による環境への取り組みに関する情報等を積極的に発信します。
- ・市民・事業者を対象とした環境に関する事業をより充実させ、参加者の増大を図ります。
- ・社会教育等の機会を捉えて環境に関する講座等を実施し、地域の中で知識や経験を広げていくことのできる人材の育成を図ります。
- ・環境意識啓発について、先進自治体の事例も参考にします。

■令和2年度の取り組み

(1) 市内の環境情報、市民活動団体・事業者・市等の環境への取り組みに関する情報等の発信

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
「環境活動パネル展」の開催	・市民ふれあいプラザ及びイオン茅ヶ崎中央店において「環境活動パネル展」を開催し、市民活動団体のパネル展示、市内小学校の環境に関する壁新聞の展示、スクールエコアクション動画上映等、多様な主体の取り組みを周知しました。(令和2年10月19日～24日開催。出展団体5団体)	環境フェア開催事業 予算額【0千円】 決算額【0千円】	
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信(再掲)	・市ホームページ「参加してみよう!環境活動」のページを随時更新し、市民団体が実施する保全活動の周知を行いました。 ・環境活動パネル展や各種キャンペーンの情報等を、広報紙、タウン紙、市ホームページのほか、ツイッター、デジタルサイネージ等、様々な媒体を用いて発信しました。	市民・事業者・市との 環境活動連携 支援事業 予算額【80千円】 決算額【0千円】	環境政策課
ポータルサイト「ちがさきエコネット」を活用した情報発信(再掲)	・エコネット登録世帯の増加を目指し、夏の省エネコンテストや広報紙、タウンニュース等への記事掲載、各種イベント等でのちらしの配布等で制度の周知を図った結果、登録世帯数は令和元年度末534世帯から596世帯となりました。 ・令和元年度に引き続き、緑のカーテンの配布事業の受付を「ちがさきエコネット」で実施したほか、緑のカーテン写真投稿キャンペーンを開催しました。	ちがさきエコネット事業 予算額【1,009千円】 決算額【1,007千円】	
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信	・ニュースレター「ちが咲き～みどりをさがしにでかけよう～」を発行し、市内の自然環境について周知しました。 ・景観みどり課Facebookを随時更新し、茅ヶ崎の自然や風景などを周知しました。 ・自然環境の保全活動をされている市民団体が行う保全活動や観察会を、市ホームページや広報紙などで周知しました。	みどりの基本計画 推進事業 予算額【617千円】 決算額【330千円】	景観みどり課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) 環境に関する講座等の実施

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
「ちがさき環境フェア」の開催(再掲)	・環境フェアの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、環境フェアは中止しました。	環境フェア開催事業	
「COOL CHOICE 展」の開催(再掲)	・イオン茅ヶ崎中央店において「COOL CHOICE(=賢い選択)展」を開催し、「地球の未来のために、いまできること」に関するパネル展示、クイズラリー等を行いました。(令和2年12月12日開催。来場者約200名)	予算額【0千円】 決算額【0千円】	環境政策課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
「環境月間パネル展」の開催	・市民ふれあいプラザにおいてパネル展示を行い、地球温暖化対策、資源物の適正分別、海岸美化に関して周知しました。(令和2年6月8日～15日開催)	環境フェア開催事業 予算額【0千円】 決算額【0千円】	環境政策課
市民と連携した講座等の実施(再掲)	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講座等の開催は見合わせました。	環境学習支援事業 予算額【68千円】 決算額【40千円】	
子どもを対象とした環境に関する講座等の実施(再掲)	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講座等の開催は見合わせました。		
環境バスツアーの実施(2市1町 広域連携事業)	・親子環境バスツアー、秋の環境バスツアーを予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。	省エネルギー及び地球温暖化対策に対する普及啓発事業 予算額【425千円】 決算額【408千円】	
みどりの保全セミナーの実施(2市1町広域連携事業)	・日本大学生物資源科学部に協力いただき、みどりの保全セミナーを行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止しました。		
ごみ処理施設見学	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施を見送りました。	ごみの減量化・資源化に関する啓発事業 予算額【343千円】 決算額【271千円】	資源循環課
各公共施設における環境に関する講座の実施	・各公民館では、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、対面式講座は実施できませんでしたが、「グリーンカーテンのヘチマでタワシ作り動画講座」等、子どもから大人までを対象とした社会教育動画を各種作成し、環境について学ぶ機会を創出しました。	社会的要請課題をテーマとした事業(公民館)・子ども事業(公民館) 予算額【2,069千円】 決算額【0千円】	社会教育課
ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業	・ちがさき丸ごとふるさと発見博物館企画展「お届けエコミュージアム! おうちで“丸ごと博物館”」をオンライン上で開催し、「烏帽子岩で生き物観察!」、「里山公園で初夏の動植物を楽しもう!」等、過去に作成した自然について学ぶことのできる動画を紹介しました。	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業 予算額【725千円】 決算額【638千円】	

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
<p>・ニュースレター「ちが咲き」の発行、Facebookでの情報発信、市ホームページや広報紙での市民団体の活動紹介等の情報発信を行うことで、環境意識の向上に資することができました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、環境フェアをはじめとするイベント、講座の中止が余儀なくされましたが、規模を縮小しての代替イベントの開催や動画配信による情報発信により、意識啓発の場を創出することができました。</p>	<p style="text-align: center;">C</p> <p>A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)</p>
<p>課題</p> <p>・誰もが様々な場所で環境に関する情報にアクセスできるよう、今後も多様なメディアを活用して情報発信を継続していく必要があります。</p> <p>・引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、屋外での少人数での講座や、インターネットを活用した講座等、新たな手法による学びの場の提供が必要です。</p>	

■概要

- ・市民活動団体や事業者に対し効果的な支援を行います。
- ・広報紙やホームページ等を活用し、取り組みを市内外へPRする機会の提供や表彰制度等のインセンティブを設けることにより、活動の促進と市民への普及、自主的な参加拡大を図ります。

■令和2年度の取り組み

(1) 市民活動団体や事業者に対する効果的な支援

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名及び令和2年度事業費*	担当課
環境美化推進事業	・海岸、公道や公園等の公共的な場所における清掃活動にあたり、ゴミ袋や軍手を配布しました。 (参加者2,221名、ゴミ袋配布数〔可燃〕3,570袋、〔不燃〕900袋、〔小さい袋〕950袋、軍手配布数1,243双)	美化推進事業 予算額【668千円】 決算額【645千円】	環境保全課
環境美化に関する民間団体補助事業	・美化運動を自主的に実施している市内の団体に対し、美化意識啓発、花の植栽、美化清掃等の活動を対象として、補助金を交付しました。(申請団体数21団体)		
資源回収促進地域補助金制度	・135の自治会に対して、資源物回収量に応じた補助金を交付し、ごみの排出抑制及び資源回収促進を図りました。	ごみの排出抑制推進事業 予算額【39,456千円】 決算額【37,489千円】	資源循環課
「茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会」への支援	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、協議会が休会となり、活動がありませんでした。	みどりの基本計画推進事業 予算額【617千円】 決算額【330千円】	景観みどり課
環境保全活動をしている市民団体への支援	・自然環境の保全活動をされている市民団体が行う保全活動や観察会を、市ホームページや広報紙、ニュースレター「ちが咲き」などで周知しました。		
環境学習会に関する講師派遣事業	・市民団体が開催する環境学習会の講師謝礼を市が負担する「環境学習会に関する講師派遣事業」を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受付を中止しました。	市民・事業者・市との環境活動連携支援事業 予算額【80千円】 決算額【0千円】	環境政策課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) 環境に関する取り組みを市内外へPRする機会の提供、活動の促進、市民への普及、自主的な参加拡大

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名及び令和2年度事業費*	担当課
「ちがさき環境フェア」の開催(再掲)	・環境フェアの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、環境フェアは中止しました。	環境フェア開催事業 予算額【0千円】 決算額【0千円】	環境政策課
「環境活動パネル展」の開催	・市民ふれあいプラザ及びイオン茅ヶ崎中央店において「環境活動パネル展」を開催し、市民活動団体のパネル展示、市内小学校の環境に関する壁新聞の展示、スクールエコアクション動画上映等、多様な主体の取り組みを周知しました。(令和2年10月19日～24日開催。出展団体5団体)		

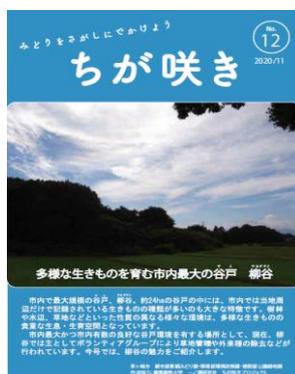
*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名及び令和2年度事業費*	担当課
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ「参加してみよう！環境活動」のページを随時更新し、市民団体が実施する保全活動の周知を行いました。 環境活動パネル展や各種キャンペーンの情報等を、広報紙、タウン紙、市ホームページのほか、ツイッター、デジタルサイネージ等、様々な媒体を用いて発信しました。 	市民・事業者・市との環境活動連携支援事業 予算額【80千円】 決算額【0千円】	環境政策課
ポータルサイト「ちがさきエコネット」を活用した情報発信(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> エコネット登録世帯の増加を目指し、夏の省エネコンテストや広報紙、タウンニュース等への記事掲載、各種イベント等でのちらしの配布等で制度の周知を図った結果、登録世帯数は令和元年度末534世帯から596世帯となりました。 令和元年度に引き続き、緑のカーテンの配布事業の受付を「ちがさきエコネット」で実施したほか、緑のカーテン写真投稿キャンペーンを開催しました。 	ちがさきエコネット事業 予算額【1,009千円】 決算額【1,007千円】	
エコ事業者認定制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度末時点で16の事業者に「エコ事業者」認定をしました。 		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
<ul style="list-style-type: none"> 環境美化や資源循環、緑化等に取り組む個人や事業者、団体に対する補助事業の継続的な実施や、広報紙や市ホームページ等を活用した市民団体の活動周知等により、環境保全の取り組みを支援することができました。 環境活動パネル展や広報紙、市ホームページにより各主体の取り組みを市内外へアピールする機会を提供することができました。 	C A:極めて順調に進んでいる B:おおむね順調に進んでいる C:ある程度進んでいる D:あまり進んでいない E:積極的な取り組みが必要 -:取り組みなし(評価不能)
課題 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において市民活動団体等の活動が制限されるなか、ニーズを把握しながら、効果的な支援を講じる必要があります。 エコ事業者の認定事業者の増加に向け、事業者への働きかけを強化する必要があります。 	



ニュースレター「ちが咲き」第12号



環境活動パネル展

施策の柱5.3 学校における環境教育の充実

目標19

各学校と地域との連携による環境教育を充実させ、地域資源を活用した環境学習の回数を増やしていくとともに、スクールエコアクションの導入による各学校での環境活動を継続的に実践していきます。

【目標担当課：環境政策課】

■目標19の進捗状況

●学校における環境学習の実施状況

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域資源を活用した環境学習の回数(*)	97回	100回	79回	80回	74回	64回	46回
地域資源を活用した環境学習の実施校数(*) (市立小中学校総数32校)	30校	31校	32校	27校	27校	24校	12校
スクールエコアクション導入校	市立全小中学校 (32校)						

* スクールエコアクションの報告から①地域の自然環境を活用した授業・取り組み、②環境に関する施設見学等の取り組み、③地域の関係団体等の協力のもとに行われた取り組み、④地域の美化に関する取り組みを数えています。

「環境学習NEWS」での
スクールエコアクションの紹介

職員向け情報通信 (16号) 令和2年7月発行

環境学習 NEWS

〒 行洋+崎市 環境部 環境政策課
 電話 0467-82-1111
 Eメール dankyousisaku@city.chikuzaki.lg.jp

この環境学習ニュースは、子どもたちの環境意識の向上に向けて、学校教員の方々に役立てていただくことを目的に発行しています。

令和元年度スクールエコアクション活動結果報告

まっぴり市では平成28年度から「スクールエコアクション」が全校に導入され、各校で特色のある取り組みがなされています。学校での環境学習は家庭・地域への波及効果も大きく大変重要と考えております。令和元年度も多くの取り組みが各校より報告されました。資料1「令和元年度スクールエコアクション特色ある取組紹介」としてまとめましたのでご覧ください。まだ行っていない取り組み等がございましたら、ぜひ新たな取り組みとして取り入れていただき、環境活動の活性化にお役立てください。

特色ある取組の一例 活動のヒント!

- テープ巻心回収活動、●朝の時間の美化活動、●係や日直による教室の消灯、●水道の使用意識、●校内放送による節電の呼びかけ、●クールビズ(スタイル)の推奨、●電気使用量のグラフの掲示

環境活動パネル展への掲示物の借用依頼について

毎年開催している体験型環境イベントである「ちがさき環境フェア」は、「新型コロナウイルス感染症対策のまっぴり市対応方針」に基づき、大規模集客イベントとしての開催を見送り、市民活動団体及び市立小中学校の環境活動を紹介する「環境活動パネル展」という形で、10月19日～24日に開催することとなりました。つきましては、各校での環境への取り組み等とあわせて最新写真(授業での取り組み、日頃の活動等の最新写真や資料、写真、絵、イラスト)がございましたらご提供ください。昨年度の取り組みでも構いません。

※新型コロナウイルス感染症まん延防止に伴うカリキュラム変更等、学年と異なる状況であることから開催の日程が変更された可能性があります。

■日程及び会場
 19日(月)～23日(金) 市立ちがさき中央図書館
 24日(土) イオンまっぴり中央店

※各会場のモニターで今年度の取組紹介学校である市立小中学校の取り組みを上映します。ぜひお越しください。

取組の様子

是非関心をお持ちください。

■概要

- ・学校における環境教育の支援を目的として、学校と地域を結びつける情報の提供を可能にする仕組みを構築・運用していきます。
- ・市内の環境のモニタリングと子どもたちの意識啓発を複合的に実現する仕組みへの展開を図っていきます。
- ・市内小中学校における環境教育の推進に向け、学校版環境マネジメントシステム(スクールエコアクション)を運用し学校生活での環境活動の充実を図ります。
- ・児童や生徒に現在の環境の状況、市民活動団体の活動内容、事業者や市の取り組み等を紹介し、環境への関心の向上と日常生活への反映を図ります。

■令和2年度の取り組み

(1)環境教育の充実に向けた情報提供の仕組みの構築・運用

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール(※)」掲載情報の随時更新	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境学習News」を掲載し、小中学校で実施されている環境に関する優良な取り組みや、小学校に御協力いただいた環境活動パネル展の様子について紹介しました。 ・市内小中学校の令和元年度の環境に関する取り組みをまとめたスクールエコアクション活動報告書を掲載するとともに、特色のある取り組みや体験型学習の事例を紹介しました。 	環境学習支援事業 予算額【68千円】 決算額【40千円】	環境政策課
学校関係者へのエコスクール周知	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校の教員向けに発行している環境情報誌「環境学習News」に掲載し周知しました。 		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2)スクールエコアクションの導入・運用と学校生活での環境活動の実践

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
スクールエコアクションに基づく取り組みの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」に、市内小中学校の令和元年度の環境に関する取り組みをまとめたスクールエコアクション活動報告書を掲載するとともに、特色のある取り組みや体験型学習の事例を紹介し、相互の取り組みを参照できるようにしました。 ・学校関係者に対するアンケートを実施し、スクールエコアクションの改善に向けた課題の抽出、新たな仕組みの検討を行いました。 	環境マネジメントシステム推進事業 予算額【515千円】 決算額【507千円】	環境政策課
スクールエコアクション報告会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動パネル展にて、小学校の壁新聞などを中心に、学校の取り組みを紹介しました。また、小和田小学校の取り組み(音楽劇、委員会活動など)を動画にまとめ、同パネル展で上映しました。(令和2年10月19日～23日〈市役所市民ふれあいプラザ〉、24日〈イオン茅ヶ崎中央店〉開催) 		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(3) 学校の環境教育に対する支援等

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
教員向けの環境学習情報誌の発行	・教員向けの環境情報を載せた「環境学習News」を3回発行しました。小中学校で実施されている環境に関する優良な取り組みや、小学校に御協力いただいた環境活動パネル展の様子について紹介しました。	環境学習支援事業 予算額【68千円】 決算額【40千円】	環境政策課
出前授業の実施(茅ヶ崎市の環境)	・学校からの要請がなかったため実施しませんでした。		
出前授業の実施(河川水質調査)	・新型コロナウイルス感染拡大防止策として出前講座等の環境教育事業は中止しました。	環境保全啓発指導事業 予算額【1,356千円】 決算額【1,243千円】	環境保全課
出前授業の実施(ごみの分別)	・小学校5校で出前講座を実施しました。	ごみの減量化・資源化に関する啓発事業 予算額【343千円】 決算額【271千円】	資源循環課
「パッカー君のごみ探検」の配付	・環境学習で使用する副教材「パッカー君のごみ探検」を作製し、小学4年生に配布しました。		
自然観察会等への支援	・梅田中学校、鶴が台中学校が実施した自然環境を題材とした総合的学習に職員を派遣しました。	みどりの基本計画推進事業 予算額【617千円】 決算額【330千円】	景観みどり課

* 事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」や「環境学習News」を通じ、環境学習に役立つ教材の提供や出前授業の紹介、各校の特色のある取り組みや体験学習の共有を行い、環境学習の支援を行いました。 ・環境活動パネル展において、小学校の環境活動の動画上映や壁新聞の掲示を行い、環境への関心の向上を図ることができました。 ・学校版環境マネジメントシステム(スクールエコアクション)については、学校関係者へのアンケートを実施したうえで、様式の簡略化等を図り、より活用しやすい仕組みに改善することができました。 	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)</p>
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した環境学習の取り組みを広げるため、事業者や市民活動団体の協力による環境学習や、行政の出前講座をについて、積極的な情報提供を行うことが必要です。 	